

三海域イニシアティブ首脳会合（於：ブルガリア・ソフィア）
宇都外務副大臣によるビデオメッセージ

ラデフ・ブルガリア大統領閣下、
ご列席の皆様、

日本国外務副大臣の宇都隆史です。本日は、ブルガリア・ソフィアでの三海域イニシアティブ首脳会合の開催にあたり、日本国政府を代表して、御挨拶申し上げます。

三海域イニシアティブは、中・東欧及びバルト諸国における南北の連結性向上により欧州の東西格差を縮小し、強く結束した欧州の実現に資する有意義な取組であり、日・EU連結性協力の推進の観点からも、日本として、その発展に強い関心と期待を寄せています。

本年5月初めの茂木外務大臣によるポーランド訪問での「V4＋日本」外相会合、そしてつい先週のバルト三国訪問においても、三海域イニシアティブが話題となり、日本の関与への期待が寄せられました。

こうした中、日本国政府として、三海域イニシアティブの意義や、同イニシアティブの下で設立された投資基金によってどのような機会がもたらされるのか、さらには、この地域の経済発展の可能性と重要性について、日本の企業関係者や投資家に対し、まずは広く理解を深めてもらうための努力を行っています。

その一環として、先月末には、駐日ポーランド大使館等との共催で、日本経団連や国際協力銀行(JBIC)、日本貿易振興機構(JETRO)の後援、ポーランド政府やポーランド国家政策投資銀行(BGK)、今年の議長国であるブルガリアの協力も得て、日本企業・投資家向けの「三海域イニシアティブ投資セミナー」をオンラインで開催しました。

エネルギー、交通インフラ、デジタルという三海域イニシアティブが掲げる優先分野は、中・東欧及びバルト諸国の連結性を高める上で不可欠な分野です。同時に、エネルギーや交通インフラについては脱炭素化や気候変動対策、デジタルについてはポスト・コロナにおける新たな可能性等の観点からも、今後の経済発展の鍵となる重要な分野です。

これらの分野は、日本企業の高い技術力を活かす分野でもあります。本日の首脳会合と同時に、ビジネスフォーラムも開催されていますが、三海域イニシアティブによってこの地域の連結性が向上すれば、欧州全体におけるビジネス環境の向上にも資すると考えます。

日本政府としても、三海域イニシアティブに関するプロジェクトへの日本企業の参加に向けて、積極的な後押しを行っていく所存です。また、欧州を担当する外務副大臣として、私自身、日本と中・東欧地域やバルト諸国、そして日本と欧州との関係を一層強化・発展させていくために今後も尽力して参ります。

最後になりますが、今回の首脳会合及びビジネスフォーラムの成功と三海域イニシアティブの更なる進展を祈念して、私の挨拶とさせていただきます。

御清聴ありがとうございました。

(了)